

うつ病の課題

最初の抗うつ薬が奏功しない割合



67%

薬が効きにくいタイプが存在。タイプごとの治療法が必要

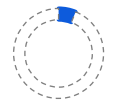
2回目の再発率



60%

慢性化傾向が高い。上手に付き合うためのスキルが重要

保険診療での認知行動療法(CBT)の利用割合



6.2%

30分以上の診療が必須で実施が困難。実現性を高める手法が必要

BiPSEEのアプローチ

薬が効きづらい「反すう」タイプのうつ病に焦点

スキルトレーニングを促す治療法を提供

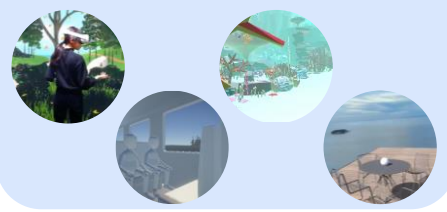
医師・患者の負担を最小限にしつつ均質な治療を提供

BiPSEEのVRソリューション

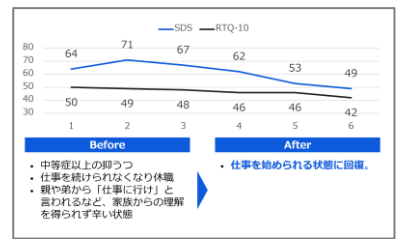
第三代CBTをベースとしたVR療法を開発

理論と臨床に基づき、反すうに効果的な手法をVR化することで、より効果的かつ手軽にアクティブラーニングを実現

患者の状態に合わせて複数のコンテンツを提供



非医療機器臨床研究での実施例(2021)



定期受診時に介入。うつ病スコア(SDS)、反すうスコア(RTQ)ともに減少。介入頻度の変更により更なる改善が期待